

令和3年度 技術情報第2号
茶 カンザワハダニ

令和3年4月27日
静岡県病虫害防除所長

茶のカンザワハダニが平年よりも多く発生しています。
今後も多発生が予想されるため、防除の徹底をお願いします。

1 発生状況

4月中下旬に県内5地域（富士山麓、静岡市北部、牧之原、小笠・磐田原、川根の各10地点）の巡回調査を実施した結果、摘採面におけるカンザワハダニの平均寄生葉率が5.5%（平年1.7%）と、平年よりも多かった（表1）。特に、富士山麓地域の平均寄生葉率が10.7%（平年1.8%）、川根地域が9.6%（同1.3%）、静岡市北部地域が5.4%（同2.0%）と高かった。

例年5月は、天敵のカブリダニ類により発生が抑制されるが、4月の調査時にはカブリダニ類は確認できなかった。また、気象庁の1か月予報（4月24日～5月23日）によると、降水量は平年並～少ない予報で、茶園が乾燥するとカンザワハダニの発生が助長される。

2 防除対策

- （1）未摘採茶園で発生が認められる場合は、発生状況に注意して速やかに摘採する。
- （2）薬剤防除を実施する際は、各地区の防除規制が解除された後に、周辺茶園へのドリフトに注意して実施する（表2）。散布薬量は400リットル/10aを目安に葉裏に薬液が届くよう丁寧に散布する。農薬の使用に当たっては必ずラベルを確認し使用基準を遵守する。
- （3）天敵のカブリダニ類は湿潤な気候を好むため、適度な降雨がある場合は活動が活発化し、カンザワハダニの増殖を抑える働きが高まる。カブリダニ類が確認される茶園では、影響の少ない殺ダニ剤を選択して使用する。
- （4）薬剤等の詳細については静岡県農薬安全使用指針・農作物病虫害防除基準（<http://www.s-boujo.jp>）を確認する。また、不明な点は病虫害防除所、茶業研究センター、及び農林事務所等の指導機関に問い合わせる。

表1 茶の摘採面におけるカンザワハダニ発生状況

地域名	富士山麓	静岡市北部	牧之原	小笠・磐田原	川根	県全体
摘採面寄生葉率(%)	10.7(1.8)*	5.4(2.0)	1.2(2.4)	0.4(1.1)	9.6(1.3)	5.5(1.7)
発生面積率(%)	90(41)	80(48)	50(45)	20(31)	80(39)	64(41)

* 数値は10地点の平均値。()内は平年値（過去10年間の平均値）。

表2 茶におけるカンザワハダニの主な防除薬剤*

商品名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	作用機構 分類コード
粘着くん液剤	100倍	摘採前日まで	-	
コテツフロアブル	2000倍	摘採7日前まで	2回以内	I:13
カネマイトフロアブル	1000倍	摘採7日前まで	1回	I:20B
ダニゲッターフロアブル	2000倍	摘採7日前まで	1回	I:23
スターマイトフロアブル	2000倍	摘採7日前まで	1回	I:25A
ダニサラバフロアブル	1000~2000倍	摘採7日前まで	2回以内	I:25A
ダニコングフロアブル	2000~4000倍	摘採7日前まで	1回	I:25B
アグリメック	1000倍	摘採7日前まで	1回	I:6
ミルベノック乳剤	1000倍	摘採7日前まで	1回	I:6
マイトコーネフロアブル	1000倍	摘採14日前まで(但し、 遮光する栽培では遮光開始 14日前まで)	1回	I:20D
バロックフロアブル	1000~3000倍	摘採14日前まで	1回	I:10B
オマイト乳剤	1500~2000倍	摘採14日前まで	2回以内	I:12C
トモノールS	100~150倍	5月~9月	-	F:NC(NC)

* 静岡県農薬安全使用指針・農作物病害虫防除基準より抜粋。

【問合せ先】静岡県病害虫防除所

〒438-0803 磐田市富丘678-1 TEL 0538-36-1543 FAX 0538-33-0780

URL <https://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>